



□ヨシガモ♂ ★★ 三列風切*が長い。
 □ヨシガモ♀ ★★ 嘴は黒色。
 □オシドリ♂ ★★★ ♀は極彩色の羽が美しい。
 □オシドリ♀ ★★★ ドングリを好んで食べる。



□カイツブリ ★★ 別名「八丁もぐり」。潜水が得意。
 □アオサギ ★ 全長 93 cm。サギの中で最大。
 □ノスリ ★★ 腹の茶色い模様が特徴。
 □トビ ★ 尾羽がバチ形。翼に白斑がある。



□オオタカ ★★ 小鳥やカモなどを捕らえて食べる。
 □オオタカ(幼鳥) ★★ 幼鳥は茶色く、胸側は縦斑模様。
 □ハイタカ♂ ★★ ハトくらいの大きさ。小鳥を狙う。
 □ハイタカ(幼鳥) ★★ 幼鳥の胸側の横斑は粗い。



外来種とは、人為的に他の地域から持ち込まれた生き物のこと。なかでも生態系や人命、農林水産業への被害を及ぼすもの、またその懸念のあるものは国が定める「外来生物法」により「特定外来生物」に指定されている。森林公園ではソウシチョウは一年中よく見られ、ガビチョウはこの1~2年で急増している。

□コジュケイ(外来種) ★ 大正時代、狩猟用に放鳥された。
 □ガビチョウ(特定外来生物) ★ 中国南部~東南アジアに分布。
 □ソウシチョウ(特定外来生物) ★ インド北部、中国南部などに分布。

本号の制作にあたり、次の方々より写真の提供をいただきました。ここに記し、心より感謝を申し上げます。
 青木 正男 (AM)、瀧美 勉 (AT)、鈴木 孝幸 (S)、津久井 克美 (T)、谷口 文雄 (F) <五十音順敬称略>
 参考文献:「原色日本野鳥生態図鑑<陸鳥編>」中村登流 中村雅彦 著(保育社)、「日本の野鳥 650」真木広造 大西敏一 五百澤日丸(平凡社)、「山溪ハンディ図鑑 7 新版日本の野鳥」叶内拓哉 安部直哉 上田秀雄(山と溪谷社)

ビジターセンター バードピア浜北

展示、自然情報の発信、自然体験型プログラムの提供などを通じて、静岡県立森林公園の自然の魅力を発信しています。
 ■入館料 無料
 ■開館時間 9:00~16:30
 ■休館日 毎週水曜(祝日の場合は翌日)(12/29~1/3)
 ■問合せ ☎ 053-583-0443

木工体験館

気軽に木工作業を楽しむことができます。キット作品でも、オリジナル作品でも。工具はそろっているので、手ぶらでどうぞ!
 ■木工: 金・土・日
 ■開館時間: 9:00~16:30
 初めて利用になる方は「初心者利用講習」受講が必要です。
 ■休館日: 月・火・水 (12/29~1/3)
 ■問合せ ☎ 053-583-1559



〒434-0002 浜松市浜北区尾野 2597-7
 ☎053-583-0443 FAX 053-583-2700
 http://kenritsu-shinrinkouen.jp/



冬の森の鳥

冬の静岡県立森林公園で見られる野鳥の顔ぶれを紹介します。よく見られるものから、滅多に見られないものまで。この冬、何種の鳥に出会えるかな?

<冬の静岡県立森林公園内で見られる頻度>
 ★よく見られる ★★たまに見られる ★★★ごくまれにしか見られない



□ヤマガラ ★ 「ニ〜ニ〜」と鳴く。



□シジュウカラ ★ 胸から腹にかけて黒ずじが目立つ。



□ヒガラ ★★ マツの上の方にいることが多い。



□エナガ ★ ほんのリンク色。尾羽が長い。



□ククイタダキ ★★ 全長 10 cm。「チリリリ」と鳴く。



□メジロ ★ 目が白くふちどられている。



□ウグイス ★ 藪の中で「チャッ、チャッ」と鳴く。



□カケス ★ 森から「ジャー！」と鳴き声をする。



□ハシブトガラス ★ 鳴き声は「カー、カー」。



□ハシボソガラス ★ 鳴き声は「ガー、ガー」と濁る。



□マヒワ ★★ ヤシャブシなど小さなタネを食べる。



□カワラヒワ ★ 「コロロ、コロロ」と鳴く。



□イスカ ★★★ 互い違いの嘴でマツのタネなどをほじって食べる。



□ウソ ★★ 名は、古語「嘯く(口笛の意)。「フィッ、フィッ」と鳴く。



□シメ ★★ 初列・次列風切*は角ばった形。嘴がととても太い。



□イカル ★★ 「キ〜コ、キ〜」と鳴く。嘴は黄色。



□アトリ♂ ★★
群れで行動することが多い。



□クロジ♂ ★★
「チツ」と小さく鳴く。



□クロジ♀ ★★
藪など暗いところにいる。



□アオジ♀ ★
「ヂツ」と少し濁った声で鳴く。



□ミヤマホオジロ♂ ★★
♂は冠羽の黄色が目立つ。



□ミヤマホオジロ♀ ★★
♀の黄色は薄い。



□カシラダカ ★
群れで草のタネなどを食べる。



□ホオジロ♂ ★
腹がオレンジ色。「チツツ」と鳴く。



□シロハラ♂ ★
「ピョピョピョ」と警戒声を出す。



□シロハラ♀ ★
落ち葉をひっくり返し餌を探す。



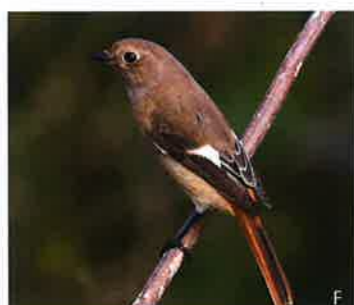
□ツグミ ★
「キョッキョッキョツ」と鳴く。



□トラツグミ ★
ミミズなどの餌を獲る時、腰を振る。



□ジョウビタキ♂ ★
目立つ場所にとまることが多い。



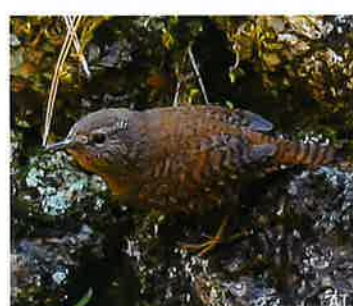
□ジョウビタキ♀ ★
翼の白斑が特徴。



□ルリビタキ♂ ★★
中低木の枝先にとまることが多い。



□ルリビタキ♀ ★★
脇のオレンジ色が特徴。



□ミソサザイ ★★
短い尾を立て、よく動きまわる。日本一小さな鳥のひとつ。



□モズ♂ ★★
♂は他の鳥の鳴き真似をする。♀への求愛と考えられている。



□モズ♀ ★★
鋭い嘴で昆虫の他、トカゲやネズミなども食べる。



□ヒヨドリ ★
「ピーヨ、ピーヨ」と鳴く。果実や花の蜜を食べる。



□ビンズイ ★
子育ては標高の高い山で行う。



□ハクセキレイ ★★
長い尾羽を上下に振る。



□キセキレイ ★
水辺の昆虫などを食べる。



□アカゲラ♀ ★★
全長24cm。赤・白・黒がきれい。



□アオゲラ ★★
全長29cm。日本特産種のキツツキ。



□コゲラ ★
全長15cm。巣穴は枯木が多い。



□キジバト ★
首の青い縞模様が特徴。



□アオバト♂ ★★
緑色の体。♂は羽の赤紫色が目立つ。



□カワセミ ★★
翡翠と書く。「チー」と鳴く。



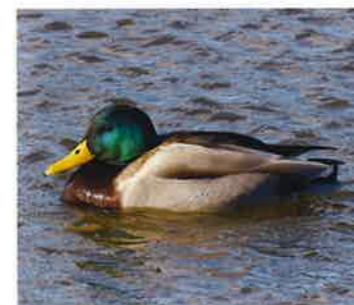
□ヤマシギ ★★
夕方から夜に虫やタネを食べる。



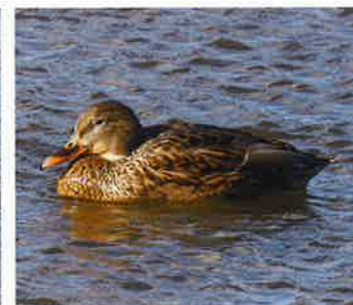
□オオバン ★
嘴の延長のような白い額板がある。



□カルガモ ★
日本で繁殖し、♂♀はほぼ同じ色。



□マガモ♂ ★
別名「あおくび」。嘴は黄色。



□マガモ♀ ★
嘴はオレンジ色。



□コガモ♂(奥)、♀(前) ★
♂は「ピリッピリッ」と鳴く。



□コガモ♀ ★
次列風切*が緑色に光る。

鳥の渡り<季節移動>

鳥は、春夏に子育てをする地と、秋冬を過ごす地が、海を超えるほど離れていても大丈夫。飛ぶ力がその長距離移動を可能にしています。このような季節による移動を「渡り」と呼びます。
春に南から子育てにやってくる鳥を「夏鳥」、秋冬に北から冬越しにやってくる鳥を「冬鳥」、日本を通過するだけの鳥を「旅鳥」と言います。また海を越えずとも、春夏に標高の高い山地で子育てをし、秋冬に低山や平地へ降りてくる鳥を「漂鳥」と呼びます。渡りの主な目的は、冬を迎えると繁殖地のエサが不足するため、エサの豊富な暖かい地へと移動するのではないかと考えられています。
渡らずに一年中、同じ場所で繁殖・越冬する鳥は「留鳥」と呼ばれます。

* 翼のつくりと名称

